

裁量ペナルティーの指標

2025

日本語訳：公益財団法人 日本セーリング連盟 ルール委員会

sport / nature / technology



序文

このバージョンの「裁量ペナルティーの指標」は、2025 年から新しくなりました。以前は、ジャッジ、競技者、支援者向けのガイダンスと情報を含んだ別の文書の一部でした。しかし、失格以外のペナルティーを認める規則や大会関連文書の増加、その結果として裁量ペナルティーを適用できる場面の増加は、この指標を独立して成り立たせる必要があることを明らかにしました。

これらの指標は、世界中の大会におけるジャッジやルール専門家の多年にわたる思慮深い貢献の成果です。当初は特定のハイレベルなレガッタで使用するリストとして始まりましたが、その後、より統一され、焦点を絞った一連の指標へと発展し、現在では世界中のより幅広い大会で適用されています。

この文書の第一の目的は、裁量ペナルティーの適用における 1)一貫性、2)透明性、そして 3)理解の向上です。ただしこれは、裁量ペナルティーを適用する権限を持つジャッジによる、思慮深い質問と証拠収集に代わるものではありません。

セーリングにおける競技規則の適用や裁定プロセスをサポートする他の文書と同様に、本指標も、セーリング・スポーツとその規則、そしてベスト・プラクティスが進化し続けるのに伴い、継続的に発展・変更されます。そのため、World Sailing の国際的なジャッジ小委員会では、改善のためのご意見やご提案を歓迎いたします。ご意見は raceofficials@sailing.org までメールでお送りください。

この文書がお役に立てば幸いです。また、この文書の改良のため、皆様から貢献があることを期待しております。

国際的なジャッジ小委員会 委員長 アンドルス・ボクシ

はじめに

この文書は、プロテスト委員会およびインターナショナル・ジュリーのジャッジおよび審問パネルのためのガイドです。裁量ペナルティーの適用を検討する際に直面する可能性のある多くの問題を円滑にかつ効率的に処理するのに役立つように設計されています。

この文書全体を通じて、「プロテスト委員会」という用語は、裁量ペナルティーを検討している、ジャッジ、プロテスト委員会の審問パネル、またはインターナショナル・ジュリーの審問パネルを意味します。

さらに、セーリング競技規則 2025-2028 に従い、この文書では性別に関係なく、委員会のリーダーを識別するために「チェア（委員長）」と「バイス・チェア（副委員長）」という言葉を使用しています。

プロテスト委員会には、これらの指標に従うことを推奨しますが、もし大会のチーフ・ジャッジが、それが適切であると判断しない場合には、従う必要はありません。

指標は、可能な限り多様な大会や状況に対応できるように作成されています。

ただし、裁量ペナルティーは、単に標準ペナルティーのリストではありません。裁量ペナルティーは、合理的な範囲で一貫性を保ちつつ、正当なものとなるように調整されるべきです。全体的な考え方は、特定の違反に対する基本ペナルティーを決定し、次に状況に応じてペナルティーを軽減または加重するというものです。

この文書のいくつかの表によって、特定の違反または規則違反のカテゴリーに対する基本ペナルティーが提示されています。これらの表は、一般的な特定の違反の基本バンドを特定します。

ただし、検討中の特定の違反がリストに含まれていない場合は、この指標の他の表に、そのような場合に基本ペナルティーを決定するために使用される、一般的な質問と関連する回答が用意されています。

違反に対してペナルティーが幅をもって提案される場合は、その一般的な質問を用いて、その違反に対する基本バンドを決定します

プロテスト委員会は、ペナルティーを基本バンドから軽減するか加重するかを評価する必要があります。この指標は、その評価において考慮すべき一連の質問と回答を用意しています。ただし、これらの質問と回答は、例外がないほど広範囲ではあり得ません。そのため、プロテスト委員会は、ペナルティーを基本バンドから軽減するか加重するかを決定する前に、特定の違反に関連する他の調査を行う必要がある場合があります。

最後に、裁量ペナルティーに関わる、結論、判決、および伝達を、当事者、スコアラー、および主催団体に伝える際は、プロテスト委員会はこのような伝達を、可能な限り明確なものにするよう努めるべきです。質の高い文章とその背後にある適切な思考に代わるものではありません。そしてプロテスト委員会には、自らの事例を文面にすることを奨励します。その精神に基づき、当事者、スコアラー、および主催団体へのより明確な、結論、判決、および伝達を作成するための出発点として役立つ、いくつかの指針も用意しています。

全般

関連する事実を認定し、裁量ペナルティーの対象となる規則に違反したと結論付けた後、プロテスト委員会は適切なペナルティーを決定し適用するプロセスを開始します。

支援者が関与していない場合、ペナルティーは 0 点から DNE までにおよびます。ペナルティーを決定するにあたり、プロテスト委員会はこの文書をガイドとして用います。

ペナルティー・バンド

ペナルティーは 4 つのバンドに分けられ、中点が通常の基本ペナルティーとなります。

バンド	下限	上限	出発点 / 中点
1	0%	10%	5%
2	10%	30%	20%
3	30%	70%	50%
4	DSQ	DNE	DSQ

まず、以下の表を用いてどのバンドが適用されるかを見つけることから始めます。基本ペナルティーはバンドの中点にあると考えます。

「特定の違反に対する基本ペナルティー・バンド」の表には、一般的な違反とその状況が幅広く記載されています。検討中の特定の違反が、そこに含まれているかどうかを確認してください。

含まれていない場合には、「一般的な質問とその他の違反に対する基本ペナルティー・バンド」の表が、適切なバンドを選択するためのガイダンスを提供します。

どちらの表にも、基本ペナルティーが複数バンドの幅をもって示される状況がいくつかあります。そのような場合、プロテスト委員会は基本ペナルティーを決定するために、「一般的な質問」、「バンド内またはバンドを越えてペナルティーを軽減または加重する場合の考慮事項」に記載されている質問、その他の適切と思われる質問を、用いることができます。

出発点が決まると、プロテスト委員会はそれらの質問（およびその他の質問）を用いて、バンド内でのペナルティーを軽減するか加重するかを決定します。

特定の違反に対する基本ペナルティー・バンド

検討中の特定の違反に対して、裁量ペナルティーが認められていることを確認してください。
特定の違反がリストにない場合、またはペナルティーが範囲で提示されている場合は、「一般的な質問とその他の違反に対する基本ペナルティー・バンド」の表に進んでください。

カテゴリー	違反	基本 ペナルティー バンド
安全	陸上に留まる場合に、レース・オフィスに通知しなかった。	1
	リタイア報告の要件を遵守しなかった。	
	(通知しなかった、報告書の不提出、抗議締切時刻後の報告書提出、または出艇・帰着の申告漏れ)	1
	違反の結果、捜索や救助活動が発動された。	4
	指定された場所に係留しなかったが、主催団体に申告した。	1
	艇が速やかに主催団体に申告しなかった場合。	2
	商業船の通航を回避しなかった。	1-4
	レース中でないとき、許される時間より長く個人用浮揚用具を脱いでいた。	1-2
	レース中に必要な安全装備を着用しなかった。	3
行動規範	オフィシャルによる合理的な要求に従わなかった。	2-4
	支給された装備の要件に従わなかった、適切な注意をもって扱わなかった、または機能を妨げた。	1-4
出艇	陸上に留まる指示に従わなかった。 (例：H旗の上にAP、D旗)	1-4
スタート	スタート・エリアを回避しなかったが、レース艇は妨害しなかった。	1
	スタート・エリアを回避せず、RRS 23.1に違反した。	4
装備検査	指示に従わなかった。	
	もっともな理由または正当化できる事情があった。	1
	もっともな理由または正当化できる事情がない。	3
乗員または 装備の交換	指示に従わなかった	
	もっともな理由または正当化できる事情があった。	1
	もっともな理由または正当化できる事情がない。	3
	不適合な乗員または装備との交換。	4
識別と広告	大会ステッカー	
	(例：広告、バウ・ナンバー、セール・ドットなど)	
	要求された通りに貼付されていない。	2-4

艇に対するペナルティー

	貼付されたが、所定の位置に固定されていない。 (主催団体によって貼付された場合は0%)	1
	要求された通りにビブを着用していない。	1-2
国旗		
	要求通りに貼付されていない。	1
	貼付されたが、所定の位置に固定されていない。 (主催団体によって貼付された場合は0%)	1
	貼付されているが、クラス規則が求めるとおりに認定メーカーによって製造されたものではない。	1
ポジショニング 機器	要求されたとおりに機器の受取りまたは返却をしなかった。または受取り・返却時に署名を怠った。	1
	取付けなかった、または取付け指示に従わなかった。	3
	機器は取付けたが、その機能を妨げた場合。	4
無線通信	すべての艇に利用可能ではない、無線、テキストメッセージ、携帯電話メッセージの送受信を行った。	3
ゴミの処分	故意にゴミを投棄した。	4
クラス規則	セール番号と国を示す文字	1
	セール・ストップ（ブラック・バンド）が無い、または正しい位置にない。	2
	バンドを越えてセールのセットした。	3
	製造業者が供給および統制する装備を改造した。	3
	ハルまたはフォイル表面の、禁止されるフェアリングまたは再仕上げを行った。	4
	登録されていない装備を使用した。（ただし認証されている）	3
	安全装備の不搭載、または不適切。	1-4
	禁止されているGPSやその他の電子機器を使用した。	4
	認証されていない装備を使用した。	4
	補正おもりがない、または正しくない位置にある。	4
	計測の許容範囲を超える装備（損傷または通常の損耗を除く）。	
	艇速に影響する可能性がない。	1
	可能性はあるが、性能への明らかな効果ではない。	2
	艇の性能に明らかな効果がある。	4

一般的な質問および他の違反に対する基本ペナルティー・バンド

上記の表に特定の違反がない場合、または上記の表が複数のバンドを提示している場合は、この表を用います。

質問	答え	基本 ペナルティー バンド
安全が損なわれる可能性はありましたか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない。	2-3
	はい	4
艇は競技上の有利を得ていないことを証明できますか？	はい、有利を得る可能性はなかった。	1
	いいえ、有利になる可能性はあったが、確実ではない。	2-3
	いいえ、確かな有利があった。	4
この違反はセーリング・スポーツの名誉を傷つけることになりましたか？	いいえ。	1
注：プロテスト委員会が、違反が不正行為に該当する可能性があるとして判断した場合、特に他に適用可能な規則がない場合には、RRS 69に基づく処置を検討する必要があります。	可能性はあったが、確実ではない。	2-3
	はい	4
違反が損傷や傷害につながる、可能性はありましたか？	いいえ	1
	可能性はあったが、確実ではない	2-3
	はい	4

艇に対するペナルティー

バンド内またはバンドを越えてペナルティーを軽減または加重する場合の考慮事項

以下の質問への肯定的な答えは、ペナルティーの軽減につながります。

- 違反は偶発的なものでしたか？
- 違反にはもっともな理由または正当性がありましたか？
- 違反は競技者自らによって報告されましたか？
- 艇の乗員や支援チーム以外の誰かが違反に加担しましたか？

以下の質問に対する肯定的な答えは、ペナルティーの加重につながります。

- 違反は繰り返されましたか？
- 違反は判断ミスや不注意ではなく、意図的なものでしたか？
- 違反を隠そうとする試みはありましたか？
- 迷惑を被った人はいましたか？

プロテスト委員会は、ペナルティーが軽減されるべきか加重されるべきかを判断するために、他の質問を用いることもできます。

ペナルティーの計算と適用

ペナルティーの計算と適用にあたっては、以下の通りにします：

- 裁量ペナルティーは、艇のレース得点をリタイアや失格よりも悪くすることはありません。
- パーセンテージのペナルティーは、小数点以下第1位まで計算されます（小数点以下第2位を四捨五入）。
- 違反がレース性能に影響する場合、抗議がすべてのレースに有効であることを条件として、ペナルティーはその日帆走した全レースに適用されるべきです。
- 違反がレース性能に影響を与えない場合、特に大部分が手続き上の問題であった場合には、ペナルティーはインシデントと時間的に最も近く帆走したレースに適用されるべきです。

判決の書き方

裁量ペナルティーの適用に関する判決または通告を作成する際には、以下の記述を含めてください。

- 「World Sailing 裁量ペナルティーの指標（艇および支援者向け）」に基づき、出発点として XX% のペナルティーが決定された。
- [理由の数ではなく、理由を列挙すること] であったので、ペナルティーは軽減された。
…または、軽減が妥当であるとする事情は無かった。
- [理由の数ではなく、理由を列挙すること] であったので、ペナルティーは加重された。
…または、加重が妥当であるとする事情は無かった。
- ペナルティーは YY% の裁量ペナルティーである。規則 44.3(c) に規定された方法を用いて計算され、[当日の全レース]または[第 ZZ レース]に適用される。

支援者に対するペナルティー

全般

プロテスト委員会が、審問において支援者が規則または現地の規定の要件に違反したと判断した場合、RRS 62.3 および RRS 69.2(i) は、支援者に対するペナルティーの適用を定めています。

プロテスト委員会は、裁量ペナルティーを決定する際、この文書をガイドとして用います。

不正行為があった場合には、支援者および艇に対するペナルティーは RRS 69 に従って決定されます。

支援者に適用されるペナルティー・レベル

ペナルティーは以下の 5 つのレベルに分けられます。

レベル	ペナルティー
1	警告
2	その人物に、1 レースまたはそれ以上、水上に出ることを禁止する。
3	その人物に、1 日またはそれ以上、水上に出ることを禁止する。
4	その人物を、1 日またはそれ以上、会場から排除する
5	その人物を、大会の残りの期間、会場から排除する、および／または規則 69 に基づき、その支援者を不正行為で告発することを含め、規則で定められたプロテスト委員会の権限内で、その他の措置を講じる。

まず、以下の表を用いて、どのレベルが適用されるかを見つけてみます。次に、ペナルティーを軽減または加重する理由があるかどうかを決定します。

支援者に対するペナルティー

特定の違反に対する基本ペナルティー・レベル

カテゴリー	違反	基本 ペナルティー レベル
安全	全ての安全装備を船内に備えていない	2-4
	・ 支援者に通告したのに従わなかった	4-5
	乗船者全員分のライフジャケットを搭載していなかった。	3-5
	水上においてライフジャケットを着用していなかった。または同乗者に着用させなかった。	
	・ 初回。	1-3
	・ 水上または陸上で警告を受けた後。	3-4
	水上でキルコードを装着していなかった。	
	・ 初回	1-3
	・ 水上または陸上で警告を受けた後	3-5
	適切な保険に加入していない。	3-5
	資格のない人員を乗船させた。	2-4
	機器、装備の一部、ブイ、標識、または同様のものを、水中に恒久的に放置した。	3-5
	求められたものを表示しなかった。	
	・ ボート、エンジン、または船体への MNA の識別	2-4
	・ その他の支援艇に求められた識別。	3-5
セーリング 会場と制限 区域	速度制限を含む、現地の港湾規定を遵守しなかった。	1-5
	不適切な言動、危険な行動、不適切な活動、または競技の公正や安全に影響を与える行為を行った。	3-5
	水面におろしたり陸上げしたりするために指定された場所を使わなかった。禁止区域にトレーラーを駐車または放置した。	1-2
	セーリング会場内に未登録の支援艇を持ち込んだ。	3-5
	制限区域外にいなかった。または指定された区域内に留まらなかった。	3
	・ レース中の艇を妨害した。	3-5
	レース中の艇の近くで、引き波を最小限に抑えることを怠った。	1-3
電子機器と 通信	故意にゴミを水中に捨てた。	3
	VHF 無線機、タブレット、携帯電話、その他の通信機器の不正使用	2-5
	VHF での不適切な通信(レース・オフィシャルズへの妨害)	1-2
	粗野な、または罵倒するような言葉遣い。(RC、TC、OA、	1-5

支援者に対するペナルティー

	プロテスト委員会または他の競技者の支援者に対して。）	
	許可なくドローンを運用した。	2-5
	テクニカル・ドーピング：情報（例えば気象学）、ハードウェア（例えば艇）を含む、支援する競技者のパフォーマンスを向上させるために、規則、規定、または大会の要件に反する手段や技術などを用いること。	2-5
その他のインシデント	その他の要件を遵守しなかった	1-4
	レース・オフィシャルからの合理的な要請に従わなかった	1-5

支援者に対するペナルティー

レベルを越えてペナルティーを軽減または加重する場合の考慮事項

RRS 62.3 に基づき、プロテスト委員会は、支援者による違反に対する適切なペナルティーを決定する広範な裁量を持っています。以下の質問への回答は、ペナルティーを軽減したり加重したりする根拠があるかどうかを判断するのに役立ちます。プロテスト委員会は、ペナルティーの軽減や加重の決定のために、他の質問を用いることもできます。

以下の質問への肯定的な答えは、ペナルティーの軽減につながります。

- 違反は偶発的なものでしたか、それとも回避できないものでしたか？
- 違反にはもっともな理由や正当性がありましたか？
- 支援チームの一員以外の誰かが違反に加担しましたか？
- 支援者は違反を認め、調査に貢献しましたか？

以下の質問への肯定的な答えは、ペナルティーの加重につながります。

- 違反は判断ミスや不注意ではなく、意図的でしたか？
- 違反を隠そうとする試みはありましたか？
- 迷惑を被った人はいましたか？
- 支援者はさらなる違反を犯しましたか？

判決の書き方

裁量ペナルティーの適用に関する判決または通告を作成する際には、以下の記述を含めてください。

- 「World Sailing 裁量ペナルティーの指標（艇および支援者向け）」に基づき、出発点としてレベル XX のペナルティーが決定された。
- **【理由の数ではなく、理由を列挙すること】**であったので、ペナルティーは軽減された。…または、軽減が妥当であるとする事情は無かった。
- **【理由の数ではなく、理由を列挙すること】**であったので、ペナルティーは加重された。…または、加重が妥当であるとする事情は無かった。
- 支援者**【支援者の氏名】**に**【支援を受ける艇を含むすべての読者のために、ペナルティーの詳細を明確にすること】**のペナルティーを課す。

さらに、プロテスト委員会は支援者に関する判決を文言にする際には、RRS 62.4 を慎重に考慮する必要があります。この文書の「支援者の関与による艇に対するペナルティー」のセクションも参照してください。

全般

プロテスト委員会が、審問において支援者が規則または現地の規定の要件に違反したと判断した場合、RRS 62.4 および RRS 69.2(i) は、特定の場合に艇にもペナルティーを適用することを定めています。

プロテスト委員会は、裁量ペナルティーを決定する際にこの文書をガイドとして用います。不正行為が関わる場合には、支援者および艇に対するペナルティーは、RRS 69 に従って決定されます。

ペナルティー・バンド

ペナルティーは 4 つのバンドに分けられ、中点が通常の基本ペナルティーとなります。

バンド	下限	上限	出発点 / 中点
1	0%	10%	5%
2	10%	30%	20%
3	30%	70%	50%
4	DSQ	DSQ	DSQ

まず、以下の表を用いてどのバンドが適用されるかを見つけることから始めます。基本ペナルティーはバンドの中点にあると考えます。

RRS 62.4(a)を考慮する

質問	回答	基本 ペナルティー バンド
艇が競技上の有利を得る可能性はありましたか？	有利を得る可能性はなかった。	1
	有利を得る可能性はあったが確実ではない。	2-3
	有利を得たことは確実である。	4

RRS 62.4(b)を考慮する

質問	回答	基本 ペナルティー バンド
違反が損傷や傷害につながる可能性はありましたか？	いいえ	1
	可能性はあったが、確実ではない。	2-3

支援者の関与による艇に対するペナルティー

	はい	4
違反により安全が損なわれる可能性はありましたか？	いいえ	1
	可能性はあったが、確実ではない	2-3
	はい	4
この違反はセーリング・スポーツの名誉を傷つけることになりましたか？	いいえ	1
注：プロテスト委員会が、違反が不正行為に該当する可能性があるとは判断した場合、特に他に適用可能な規則がない場合には、RRS 69 に基づく処置を検討する必要があります。	可能性はあるが確実ではない	2-3
	はい	4

バンド内またはバンドを越えてペナルティーを軽減または加重する場合の考慮事項

以下の質問への肯定的な答えは、ペナルティーの軽減につながります。

- 違反は偶発的なものでしたか、それとも回避できないものでしたか？
- 違反にはもっともな理由や正当性がありましたか？
- 支援チームの一員以外の誰かが違反に加担しましたか？
- 支援者は違反を認め、調査に貢献しましたか？

以下の質問への肯定的な答えは、ペナルティーの加重につながります。

- 違反は判断ミスや不注意ではなく、意図的でしたか？
- 違反を隠そうとする試みはありましたか？
- 迷惑を被った人はいましたか？
- 支援者はさらなる違反を犯しましたか？

プロテスト委員会は、ペナルティーが軽減されるべきか加重されるべきかを判断するために、他の質問を用いることもできます。

ペナルティーの計算と適用

RRS 62.4 に基づき艇にペナルティーを課す場合、プロテスト委員会は、艇のある 1 つのレースにおける得点を変更することだけができます。さらに、ペナルティーは 0% から失格までの範囲となります。

ペナルティーの計算と適用にあたっては、以下の通りにします：

- 裁量ペナルティーは、艇のレース得点を失格よりも悪くすることはありません。

支援者の関与による艇に対するペナルティー

- パーセンテージのペナルティーは、小数点以下第 1 位まで計算されます（小数点以下第 2 位を四捨五入）。
- ペナルティーは、インシデント発生時と時間的に最も近く帆走したレースに適用されます。

判決の書き方

裁量ペナルティーの適用に関する判決または通告を作成する際には、以下の記述を含めてください。

- 「World Sailing 裁量ペナルティーの指標（艇および支援者向け）」に基づき、出発点として XX% のペナルティーが決定された。
- [理由の数ではなく、理由を列挙すること] であったので、ペナルティーは軽減された。…または、軽減が妥当であるとする事情は無かった。
- [理由の数ではなく、理由を列挙すること] であったので、ペナルティーは加重された。…または、加重が妥当であるとする事情は無かった。
- ペナルティーは YY% の裁量ペナルティーである。規則 44.3(c) に規定された方法を用いて計算され、[当日の全レース]または[第 ZZ レース]に適用される。



World Sailing

www.sailing.org

sport / nature / technology

Official Partners

